

## 準備するもの

### ●猫ちゃんのお気に入りのカリカリごはん(ごほうび)

猫ちゃんの健康に配慮して、1日のご飯の量から10~20%を取り分けてトレーニング用としてご使用してください。



## 注意すること

猫ちゃんの緊張のバロメーターに注目しながらトレーニングを行ってください。

### ●耳の向き

不安になると、耳が後ろに倒れていきます。



### ●「ごほうび」を食べられるか

不安になると、お気に入りのごはんであっても食べられなくなってしまいます。

トレーニング中に耳が後ろ向きに倒れていて、お気に入りのごはんを食べないときは、トレーニングが猫ちゃんにとって嫌なことになっている状態です。

その場合はすぐにトレーニングを中止してください。

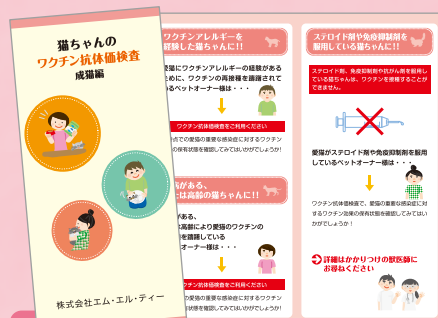
猫ちゃんは嫌なことに関する記憶力が良い動物といわれています。一度嫌なことと認識してしまうとトレーニングが進まなくなることがあります。

トレーニングを楽しい遊びと認識させるように、耳の向きと「ごほうび」を食べているかを常に注目して、トレーニングを進めてください。

◎「猫ちゃんとの楽しいゲームトレーニング」も必ず並行して行いましょう!



株式会社エム・エル・ティーでは、  
猫コロナウイルス抗体検査、  
猫のワクチン抗体価検査に関するリーフレットを  
ご用意しております。



猫ちゃんのワクチン抗体価検査 成猫編



猫コロナウイルス抗体検査



子猫ちゃんの通院トレーニング 全5種

子猫ちゃん  
の通院  
トレーニング  
サイトは  
こちらから



動物病院名

猫ちゃんと楽しく動物病院に行くために



# 子猫ちゃん の通院 トレーニング

動物病院に慣れよう!  
その② 猫ちゃんを動物病院に連れて行こう!



トレーニングは、猫ちゃんにとって、  
辛いこと嫌なことの強制になりませんか?

まずは「猫ちゃんとの楽しいゲームトレーニング」を読んで実践していただき、猫ちゃんが飼い主さまとトレーニングすることを楽しめるようになってから、「通院トレーニング」を始めてください。トレーニングは猫ちゃんと飼い主さまとの楽しい共同作業です。より一層飼い主さまとの「きずな」を深めていくことにつながるとともに、猫ちゃん的好奇心をくすぐる楽しい遊びになります。



トレーニングを進めるうえで参考になる情報を掲載!ぜひご覧ください。  
▼坂崎 清歌 先生(Happy Cat)の

## リーフレットをご覧いただいている飼い主さまへ

このリーフレットで紹介しているトレーニングは、ちょっと難しい内容となっていると思います。まずは、猫ちゃんとの日々のトレーニング(遊び)を通じてコミュニケーションを取っていきましょう。そしていずれはこのリーフレットにあるような、生活に必要なトレーニングにも取り組んでみてください。「ゆっくり、焦らず、猫ちゃんペースで、お互いが楽しく」取り組むことが大切です。

監修 坂崎 清歌 先生(Happy Cat)



ホームページ  
<https://happycat222.com/index.htm>

ブログ  
<https://happycat222.com/blog/>



本トレーニングは、キャリーバッグでの移動や、(必要に応じて)自動車での通院に慣れていることに加え、他人に慣れていることが前提となります。猫ちゃんと楽しく動物病院に行くためのリーフレット『子猫ちゃんの通院トレーニング キャリーバッグに慣れよう!』、『子猫ちゃんの通院トレーニング 自動車に慣れよう!』、『子猫ちゃんの通院トレーニング 動物病院に慣れよう! その① 猫ちゃんを動物病院に連れていく前に(準備編)』をご参照ください。

## 飼い主さまへ

猫ちゃんを病院に連れて行くときに、飼い主さま自身が緊張していないですか?

飼い主さまの様子は猫ちゃんに伝わります。飼い主さまが緊張していたり、慌てていたりすると、猫ちゃんはその様子を見て大変なことが起きたと勘違いしてしまい、猫ちゃんの緊張が高まってしまいます。

緊張しないなんて無理だと思う飼い主さまは、猫ちゃんなしに病院に行って先生とお話しをしてみませんか?



うちの子(猫ちゃん)は病院では大人しくて良い子だとよく言われます。



猫ちゃんは、**慣れていない場所・知らない人が苦手**です。猫ちゃんを動物病院に連れて行った際に、愛猫が**固まる、隠れる、逃げる、攻撃する**などの経験をお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか?

なかでも「**固まる**」という行動は、隠れる、逃げる、攻撃するという行動ができない位の緊張や恐怖を猫ちゃんが感じているのかもしれない。

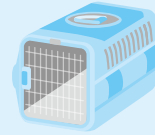
動物病院のスタッフに慣れ親しんでいるため、大人しいのであれば問題ありませんが、**固まって動かないために大人しく見えているだけ**の場合は、猫ちゃんのために良くありません。一度、動物病院での猫ちゃんの様子(緊張のバロメーター)をじっくり観察してみてください。



## 動物病院内の大事なポイント

キャリーバッグは床に置かず、**飼い主さまの膝の上や座席の上に!**

床の上は想像以上に足音が響きます。キャリーバッグを直接床の上に置いてしまうと、猫ちゃんが怖がってしまいトレーニングどころではありません。



## 1. 病院の待合室で「ごほうび」をあげてみよう

キャリーバッグのすき間から「ごほうび」をあげてください。

- 食べなかったらその日は帰りましょう。
- 病院は猫ちゃんが慣れていない場所です。そう簡単には食べるようにはなりません。「ごほうび」を変えてみるなどいろいろと試しながら、チャレンジしてください。
- 耳が立っている状態で「ごほうび」を食べていけば次のステップに進みましょう。

## 2. 動物看護師さんからもらった「ごほうび」は食べられるかな?

動物看護師さんにキャリーバッグのすき間から「ごほうび」をあげてもらってください。

- 最初は猫ちゃんと目を合わせない状態で「ごほうび」をあげてもらってください。
- 目を合わせない状態でもらった「ごほうび」を食べるようになったら、次に、キャリーバッグの近くに寄って、猫ちゃんを見ながらゆっくり瞬きして「ごほうび」をあげてもらってください。
- 耳が立っている状態で「ごほうび」を食べていけば次のステップに進みましょう。

## 3. 食べている時に動物看護師さんが触っても、そのまま食べ続けられるかな?

猫ちゃんが「ごほうび」を食べている時にキャリーバッグの扉(正面の扉ではなく、上を開けてください)を少し開いて、(猫ちゃんの背中を)動物看護師さんに撫でてもらうてください。

- ▶ 動物看護師さんが触っている間も、食べ続けているかを確認してください。
- ▶ 食べ続けていたら「ごほうび」を追加してください(「ごほうび」は前の扉からあげても大丈夫です)。声掛けも忘れずに!
- ▶ 猫ちゃんが不安になっているようであれば、触るのを止めてすぐに扉を閉めてください。



## 4. 動物看護師さんに触ってもらおう!

キャリーバッグの扉(正面の扉ではなく、上を開けてください)を少し開いて、動物看護師さんに触ってもらってください。ちょっと触ったらすぐに「ごほうび」をあげてください。声掛けも忘れずに!



- 「触る」→「ごほうびをあげる」の順番を間違えないでください。
  - ▶ 猫ちゃんが不安になっているようであれば、すぐに扉を開けてください。
- 動物看護師さんが触った後に、耳が立っている状態で「ごほうび」を食べていけば次のステップに進みましょう。
- 動物看護師さんが触っている間も、耳が立っている状態で「ごほうび」を食べていけば、「病院の待合室」や「動物看護師さん」にさほど不安を感じていない状態です。さらに慣れるようにトレーニングを繰り返しましょう。動物看護師さんに遊んでもらえるようになれば、猫ちゃんにとって「病院の待合室=楽しい場所」、「動物看護師さん=良い人」になっているかもしれません。
- 「猫ちゃんとの**新しい**ゲームトレーニング」でできるようになった「ハイタッチ」を動物看護師さんともしてみよう。
  - ▶ この時はいつもより上手にできなくても、猫ちゃんが挑戦してくれたら「ごほうび」をあげます。



## 「動物病院に慣れるトレーニング」での重要なポイント

動物病院は、猫ちゃんにとって身近な存在ではありません。一度動物病院に慣れたからと言って、しばらく行かなければ、待合室や動物看護師さんのことを忘れてしまいます。体重測定、爪切り、ちょっとした悩み相談、何でもいいので定期的に動物病院に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

